



京都大学

第19回 市民防災講座－災害リスクを考える－ 豪雨・土砂災害に備える

参加無料

【日 時】2019年7月25日（木） 13:30～17:00

【場 所】シェラトングランドホテル広島 美波（3F）J R広島駅 新幹線口前
司 会 京都大学大学院 工学研究科 助教 保田 尚俊

主催者挨拶

京都大学大学院 工学研究科

教 授 杉山 友康

講 演

●ゲリラ豪雨と線状降水帯の予兆を捉える

京都大学 防災研究所

准教授 山口 弘誠

●土石流のしくみと被害

鳥取大学大学院 工学研究科

准教授 中村 公一

●災害時に備えて－防災対応能力の向上－

香川大学 創造工学部 創造工学科

教 授 井面 仁志

事例紹介

●平成30年西日本豪雨災害を踏まえた広島県の取り組み

広島県 危機管理監 危機管理課

防災担当監 山本 雅治

●JR西日本における平成30年西日本豪雨災害の被災概況と復旧 ～早期運転再開に向けた取り組み～

西日本旅客鉄道(株) 近畿統括本部次長（前広島支社副支社長）西井 学

※講演者及び講演内容が変更となる場合があります。



安芸郡熊野町川角



広島呉道路
(安芸郡坂町水尻)

資料提供：広島県砂防課

【定 員】 200名（先着順・要事前申込）

【申込方法】 参加希望の方は、下記URL、FacebookもしくはQRコードよりホームページにアクセスして登録していただくか、必要事項を記載のうえメールまたはFAX（裏面参照）でお申込ください。

必要事項 ①代表者氏名 ②電話番号 ③住所

④職業（会社員(会社名) / 公務員 / 学生 / その他）

⑤記事欄（2名以上同時にお申込される場合、代表者以外の氏名、その他要望事項）

※参加申込でいただいた個人情報は、当市民防災講座の運営及び当講座からのお知らせ以外の目的には使用しません。

ホームページURL<<http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/lab/>>

メール：info@ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp FAX:075-383-3410

Facebook：京都大学 災害リスクマネジメント工学-JR西日本-講座

【申込締切】 7月22日（月）

【問合せ先】 京都大学災害リスクマネジメント工学（JR西日本）講座
TEL：075-383-3114（平日 9時～16時）



主催：京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 災害リスクマネジメント工学(JR西日本) 講座

後援：国土交通省中国地方整備局/広島県/広島市/公益社団法人地盤工学会中国支部/

公益社団法人土木学会中国支部/中国地方鉄道協会/中国新聞社

協賛：西日本旅客鉄道株式会社



京都大学第 19 回市民防災講座

— 災害リスクを考える — 7 月 25 日(木)

京都大学災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座では、JR西日本からの寄附により、自然災害に対する鉄道や道路などの社会基盤設備の総合的管理技術、交通規制といったソフト対策技術の研究を進めています。あわせて市民の皆様の防災に対する意識の向上と、避難時の行動や住民同士の協力の重要性を理解していただくことを目的に市民防災講座を企画しました。

講演

●ゲリラ豪雨と線状降水帯の予兆を捉える 京都大学 防災研究所

准教授 山口 弘誠

豪雨災害を防ぐためには、事前の兆候(予兆)をいち早くかつ正確に捉えることが有意義です。偏波レーダーを含む最新の気象観測や、数値予測モデル開発を紹介し、近未来の実用化を目指したゲリラ豪雨および線状降水帯の予測研究の最前線について紹介します。

●土石流のしくみと被害 鳥取大学大学院 工学研究科

准教授 中村 公一

土砂災害にはいくつかの種類がありますが、そのなかでも土石流は大災害となることが多くあります。土石流の動画を用いて土石流のしくみについて説明し危険性を認識することで、防災意識の向上に役立ててもらいたいと思います。

●災害時に備えて一防災対応能力の向上— 香川大学 創造工学部 創造工学科

教授 井面 仁志

自然災害並びに人為災害が巨大化、多様化、複雑化し被害が広域化・甚大化する事態を受け、今後ますます想定を越える災害に直面する可能性が高くなっています。従って地域の被害を最小限にとどめるためには、個人の防災コンピテンシーの向上が望まれます。そこで、過去の災害時の人の行動特性と災害対応能力訓練システムを用いた、防災対応能力向上訓練の紹介を行います。

豪雨・土砂災害に備える

事例紹介

●平成30年西日本豪雨災害を踏まえた 広島県の取り組み

広島県 危機管理監 危機管理課

防災担当監 山本 雅治

平成30年7月6日に発生した豪雨災害は、死者133名、行方不明者5名等、戦後最大級の甚大な被害をもたらしました。今回の豪雨災害を受けて広島県の被災状況と、事後の広島県としての取り組み(自助・共助・公助)について紹介します。

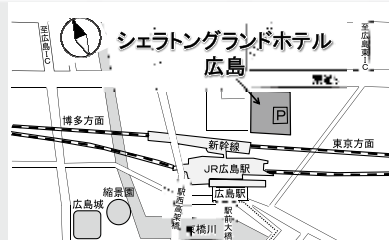
●JR西日本における平成30年西日本豪雨 災害の被災概況と復旧

～早期運転再開に向けた取り組み～

西日本旅客鉄道株式会社

近畿統括本部 次長(前広島支社 副支社長) 西井 学

平成30年7月豪雨は、広島県全域に斜面の崩壊や河川の氾濫など甚大な被害をもたらし、鉄道輸送も多大な影響を受けました。今回はJR西日本での被災状況と復旧工事の概要、および降雨災害から鉄道を守るために取り組んでいるハード・ソフト対策についてご紹介します。



会場

シェラトングランドホテル
広島

〒732-0053

広島県広島市東区若草町
12番1号
(JR広島駅 新幹線口前)

FAX 申し 込み 用	①代表者 氏名	(フリガナ) (氏名)	②電話番号	
	③住 所	〒 — 都道府県	市区町村	
	④職 業	該当する職業を○で囲んでください。 1.会社員(会社名:) 2.公務員 3.学生 4.その他()		
	⑤記事欄	2名以上同時にお申し込みの場合は、こちらに氏名、フリガナ、職業をご記入ください。		

※参加申込でいただいた個人情報は、当市民防災講座の運営及び当講座からのお知らせ以外の目的には使用しません。

FAX : 075-383-3410